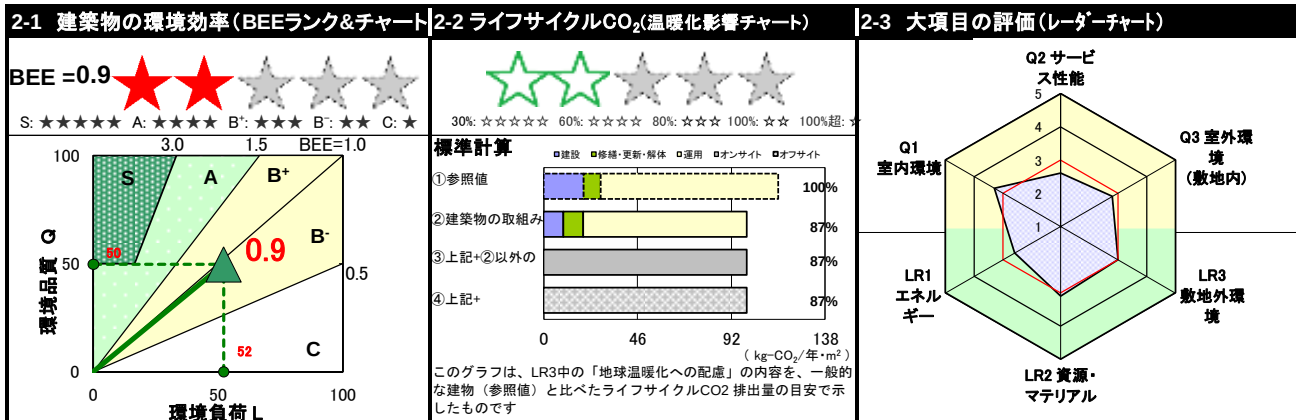




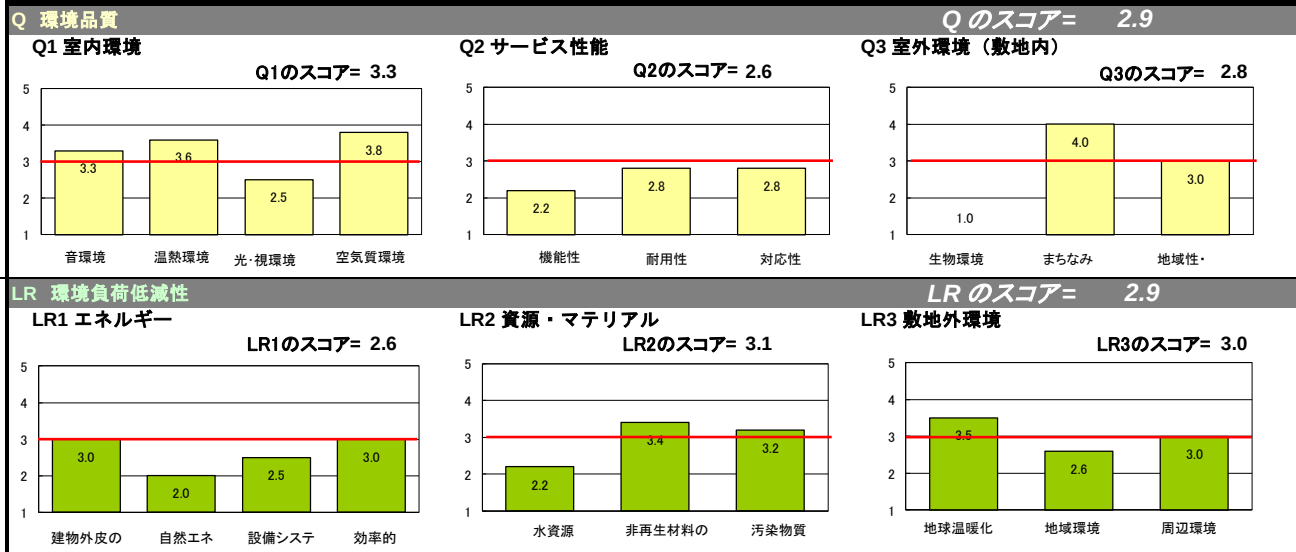
評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)S1W17MS	階数	地上14F	
建設地	札幌市中央区南1条西17丁目1-3、-4、-5、-6、-17、-21	構造	RC造	
用途地域	商業地区	平均居住人員	102 人	
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価	
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年3月23日	
敷地面積	882 m ²	作成者		
建築面積	454 m ²	確認日		
延床面積	5,278 m ²	確認者		



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 白を基調とした、シンプルで華美にならない外壁の仕上と、連続的な照明で、周辺景観との調和に配慮した。		A 省エネルギー 潜熱回収型の給湯器を採用し、省エネに配慮している。戸数に対して十分な駐輪場・駐車場を敷地内に計画し、周辺の交通負荷の抑制に配慮した。居室内に防汚性が比較的高く、交換も割と簡易にできる仕上げ材を使用し、維持管理に配慮している。
B 省資源等 乾式間仕切、吹付ウレタン等、比較的容易に分別できる資材を使用しており、資源に配慮している。	C 緑化 戸数に対して十分な駐輪場・駐車場を敷地内に計画し、周辺の交通負荷の抑制に配慮した。	D 雪処理 ロードヒーティングを敷地全体に敷設し、敷地外には雪を出さない様に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される